

9. お世話になっています、広報委員会です！

4月を迎えてスキーシーズンも終了ということで、シーズン締めくくりのSAKだより第65号、Web版を発行し終えてホッとしたのも束の間、もうSAKツールの原稿依頼をいただく時期になってしまいました。

昨シーズンはいろいろ嬉しい出来事が多かった神奈川県連ですが、広報委員会としては、中心メンバー2人が人事異動で、1人は海外、もう1人も県外異動で週末以外は委員会活動には参加できないという、広報委員会始まって以来(?)という危機的状況に陥っています。各協会におかれましては、是非新しい広報委員のメンバーを追加推薦いただきますよう、伏してお願い申し上げます。

さて、私たち広報委員会は、「SAKだより」の編集・発行、「SAKホームページ」の取材・編集・公開、評議員会・理事会等の書記(会議録作成)、各本部の行事取材など多方面に亘っています。

「SAKだより」は、年2回の発行ですが、先にも記載のとおり奇数号はWeb版のみの発行となっていて、紙ベースの発行は偶数号の年1回になっています。

ホームページでは、最新の情報をいち早く皆さんにお届けしたいという思いで、スキー場から帰宅した晩にデータ転送を行ったりもしています。

各種会議録作成ですが、一般の皆さんにはなじみが薄いと思いますが、公益法人の情報公開という視点から非常に重要な仕事ということができます。

でも、SAK会員の皆さんとの接点は、雪上行事取材の時だと思えます。「SAK PRESS」というロゴ入りの黒いベストをスキー場で見かけたら、気軽に声を懸けて下さい。あなたの写真がSAKホームページのトップを飾るかもしれません。

こういった活動を通して、私たちは会員の皆さんに県連の最新の情報をダイレクトにお届けし、皆さんの声を県連に伝えるパイプ役を務めていると考えています。

今後もよろしくお願いします。



公益財団法人 神奈川県スキー連盟
広報委員会
委員長 守谷 紀幸

